

3

地域循環 共生圏

日本の環境・経済・社会の課題は相互に関連・複雑化し、それぞれの地域社会に大きな影響を与えています。

国全体で持続可能な社会を構築するためには、各地域が持続可能となる必要があります。

そのために、各地域の特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しながら、特性に応じて近隣地域等と地域資源を補完し支え合う「地域循環共生圏」を創造していきます。



地域循環共生圏とは？



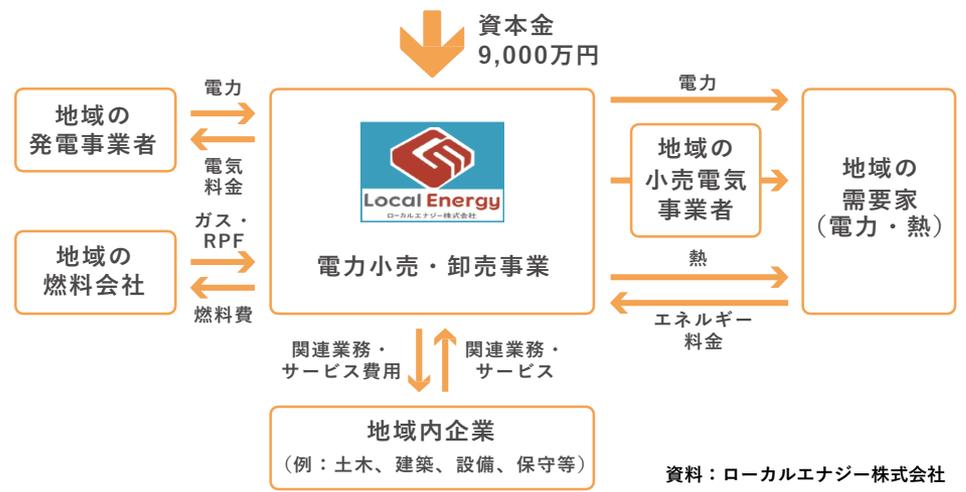
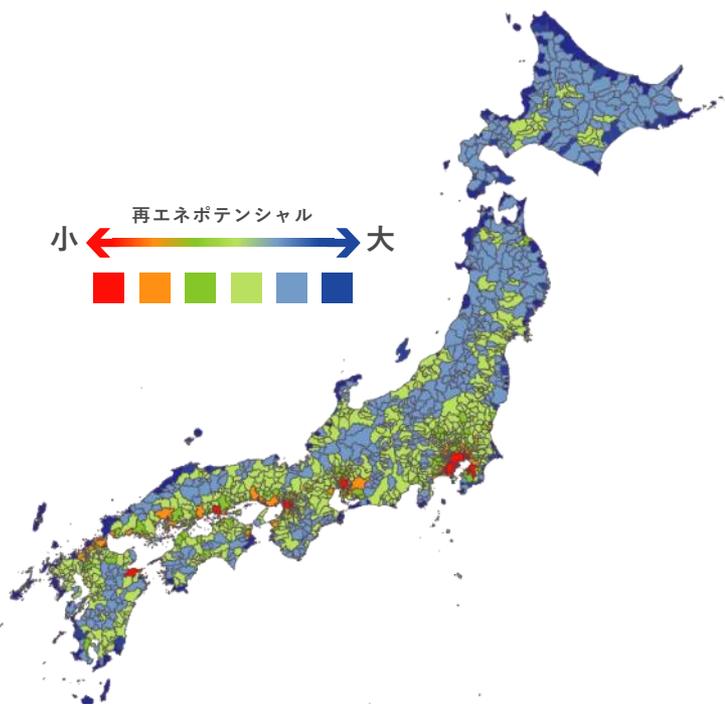
持続可能な地域づくりを通じて、環境で地方を元気にしていく、
また持続可能な地域づくりを担う人材育成を行う

地域循環共生圏の取組…①

再生可能エネルギーによる地域活性化

事例 ローカルエナジーが目指す地域内資金循環

中海TV放送 50%	山陰酸素工業 20%	米子市 10%	三光 10%	米子瓦斯 5%	皆生温泉観光 5%
---------------	---------------	------------	-----------	------------	--------------



資料：ローカルエナジー株式会社

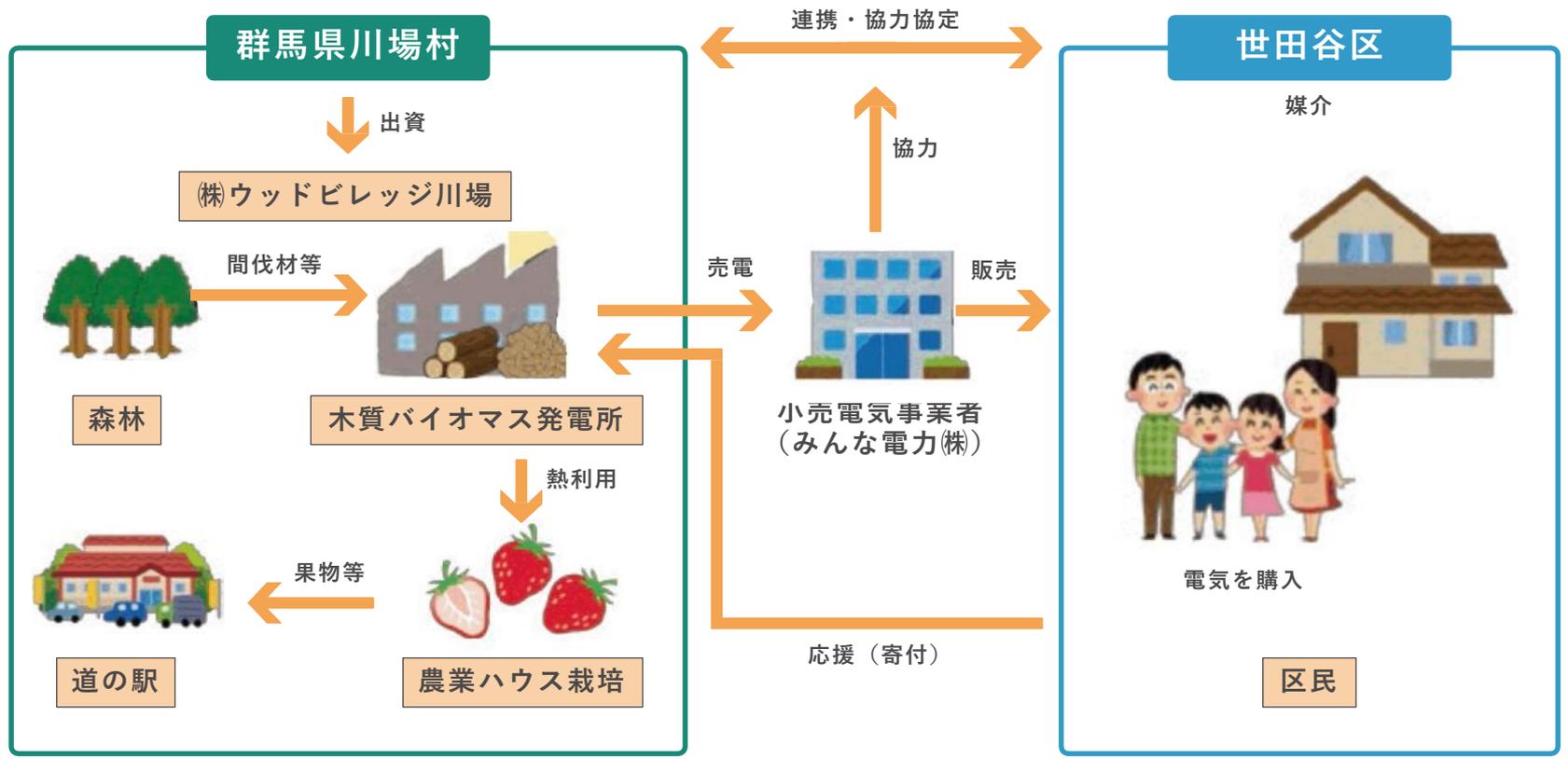
地方は、地域内の再エネがエネルギー需要を上回り、地域外にエネルギーを販売し得る。

地域の自治体・企業・市民・金融機関等が連携して、再エネ資源を活用し、地域にエネルギーを供給することで、地域内経済循環を拡大し、雇用を創出。

地域循環共生圏の取組…②

地域活性化+脱炭素化のモデル

～川場村産の電気を世田谷区民が購入する仕組み～



地域循環共生圏の取組…③

地域の自然資源による地域活性化

コウノトリと共に生きる（豊岡市）

兵庫県豊岡市は、2003年から農薬や化学肥料に頼らない「コウノトリ育む農法」による米栽培で農家の所得が増加。コウノトリと周辺観光を組み合わせた「コウノトリツーリズム」の観光客は3倍以上に増加。地域の愛着と誇りの醸成に寄与。

コウノトリと少年



資料：兵庫県豊岡市

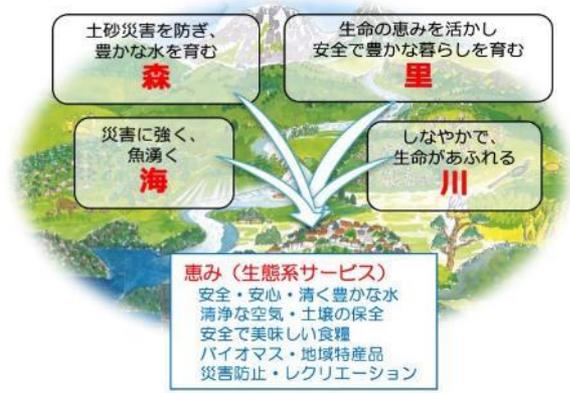
コウノトリ育むお米



自然の恵み（生態系サービス）を活用して、地域の農林水産業や地域そのものをブランド化

つなげよう、支えよう森里川海

森里川海が本来持つ力を再生し、恵み（清浄な空気、豊かな水、食料・資材等の恵みを供給する力や自然災害へのしなやかな対応力等）を引き出すことで、森里川海とその恵みが循環する社会をつくります。



自然の恵みを引き出し、経済性を伴ってまわる仕組みづくりとライフスタイルへの変革

地域循環共生圏の創造に向けた支援体制

地域循環共生圏の創造を強力に推進するため、地域循環共生圏づくりプラットフォームを構築し、業務を行います。



- 1 持続可能な地域づくりのための人材育成
- 2 地域協議会の運営支援
- 3 地域循環共生圏創造支援チーム形成
- 4 総合的分析による方策検討・指針の作成等
- 5 戦略的な広報活動

期待される効果

今後5年間で地域循環共生圏の創造に取り組み、地域の経済・社会の課題を環境政策を通じて同時解決し、環境ビジネスの創出等を通じて、地方を元気にしていく。